

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

2012年12月の安倍政権の登場で超円高・デフレから離脱するといわれていますが、「アベノミクス」といわれる経済政策はどのようなものなのか、デフレ脱却に有効なのかということについて詳しく明らかにします。

「アベノミクス」の本質を理解するためには、戦後の日本経済の構造を理解する必要があります。すなわち、戦後の高度経済成長とその終焉、不動産バブルの形成、その崩壊による長期にわたった平成大不況を理解しなければなりません。戦後の日本経済の変遷をみることで、平成大不況の本質を明らかにすることができます。

平成大不況の本質を明らかにするとその克服に「アベノミクス」が有効かどうかを理解することができますと考えられます。この間の「アベノミクス」は機能不全に陥っているのではないかといわれる中で、アメリカでトランプ政権が登場しました。トランプ景気とオリンピック景気で日本経済は、成長するのではといわれています。ところが、それほど楽観的にはなれないかもしれません。

中小証券への経済・証券市場予測などの情報を提供している日本証券経済研究所における実務経験に基づいて、日本経済の見通しの分析手法について詳しく講義します。とくに、歴史分析を中心に研究しましたので、戦前・戦後の経済分析手法をあきらかにします。

本講義では、現状の日本経済の特徴を明らかにし、これからの方向について皆さんと考えたいと思います。

授業計画

第1回	講義の概要
第2回	歴史分析の手法―軍事中心の戦前の日本経済、農民・市民は貧困のどん底
第3回	「憲法」9条で平和国家、「独禁法」9条で財閥復活禁止
第4回	敗戦と財閥解体・農地解放・労働改革により経済の民主化
第5回	冷戦下での日本の高度経済成長、「一億中流社会」の誕生
第6回	高度成長の終焉、外需は輸出、内需は公共事業・列島改造論
第7回	変動相場制へ、円高の進行で輸出企業の国際競争力の強化
第8回	銀行・建設・不動産の低い国際競争力の帰結はバブル経済
第9回	バブル経済の崩壊による長期の平成大不況、超円高・デフレ
第10回	安倍政権の「アベノミクス」の実態は日銀の異次元緩和
第11回	日銀の「円安誘導」により株価の上昇、企業収益の好転
第12回	株価上昇と高額消費の拡大、団塊の世代の退職で雇用の拡大
第13回	物価が上がらず日銀はマイナス金利政策、長期金利の操作へ
第14回	オリンピックを目指して財政出動と公共事業で景気が浮揚かの予測
第15回	健全財政を構築し、格差是正・福祉の充実・環境保全経済へ
第16回	期末試験

到達目標

トランプ政権の誕生で、世界経済と日本経済は大きく変容しつつあります。安倍政権の「アベノミクス」で日本経済は長かったデフレから離脱しつつあるといわれています。戦後の日本経済と「アベノミクス」とはどのようなものなのかを理解してもらうことを到達目標としています。実務経験に基づいて、これからの日本経済の見通しの分析手法について理解してもらいます。日本経済の進むべき道を考えましょう。

履修上の注意

現実の日本経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。30分以上の遅刻は欠席とし、30分以内の遅刻二回で欠席一回とします。

欧米経済事情を履修しておくこと、現状の日本経済の実態をより深く理解することができます。

予習復習

講義の予習・復習をしてください。そうしないと、講義の内容がわからなくなることもありますので、注意してください。

評価方法

中間試験(30%)と期末試験(70%)によって総合的に評価します。

テキスト

- 教科書名：『「アベノミクス」の正体』
- 著者名：相沢 幸悦
- 出版社名：日本経済評論社
- 出版年：2017年